

【最近のこれはお見事！】

『話す犬を、放す』

人生の転機の際に、母が難病に罹り奮闘する女優のお話。？の題名が面白い。

シネマズライフ

2017年3月3日発行 第120号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん
黄樹 諒音

【最近のこれはまずいぞ！】『探偵は、今夜も憂鬱な夢を見る。』よく似た題名を二つ足して2で割ったような...

映画の風景 日本の風景

★ 中之島フェスティバルタワー ★



←中之島フェスティバルタワー

『スポットライト 世紀のスクープ』という映画があった。こんな映画だ。

マサチューセッツ州ボストン。地方紙『ボストン・グローブ』に新しい編集長・マーティン・バロンが就任したのが二〇〇一年の事だ。バロンは以前の小さな記事に着目。ボストンでくすぶっていた「神父の性的虐待事件」を調べる事を命じる。しかし、ボストンではいまでも信仰深く、表ざたになるとスキャンダルとなり、ボストンの名士でもあるバーナード・ロー枢機卿と多くのカトリック信者の頑強な抵抗が予想された。しかし、被害者を知る弁護士・ガラベディアンの協力を得て被害者の話を聞くとか加害者神父の人数は想像以上で驚く。そこで、地道に取材を続け、ついに二〇〇二年一月『スポットライト』が発表。世界中のカトリック信者を震憾させる事件の発端となった。記事はついにローマ教皇・ベネディクト16世の退位に繋がったとも言われており、世界中のカトリック教会に影響を与えた。

『スポットライト』が世界中で驚かせたのは今まで『治外法権』の「教舎」を告発したから。調査方法は被害者を探し出し「話を聞く事」。それは意外と地味で記者としては普通。ただ、今の日本では「うらやましい」と思ってしまう。

大阪・中之島に建つ、中之島フェスティバルタワーには、日本を代表する朝日新聞社が入っている。朝日新聞もそうだが、今のマスコミはほとんど「ネット」から情報を得ていると思える記事が多い。日本のマスコミ取材方法もネット情報も読和状態になつていて、今、ボストン・グローブのような地道に取材が再び必要な時代になつてきているのでは？と思うのだ。

『スポットライト 世紀のスクープ』2015年 アメリカ 監督 脚本：トム・マッカーシー 脚本：ジョシュ・シンガー 出演：マーク・ラファロ マイケル・キートン レイチェル・マクアダムス リーブ・シュレイパー ジョン・スラッテリー スタンリー・トゥッチ

『ボストン・グローブ』の各員から世界中で教会を「性的虐待」で訴える人が多く破産した教会もあったという。なお、豊初に問題を起こした神父は告訴され収監先で歿された。

コラム
いったいほんとに問題なのは何？の件

今、安倍総理大臣の周辺が「森友学園」問題で、揺れている。大阪に新しい小学校を設立しようとした「森友学園」が、その土地取得方法と認可の取り方があまりにも、不透明な事が多く、楽観視していたと言われていた安倍総理も落ち着きを無くしてきているようだ。原因は何か？

ネットの普及で、問題が次々と露見し、「総理が「森友学園」の為に口利きをしたのではないか？」との話が浮上してきたからだ。それは、大阪の知事にもその疑いがかかっている。

ネットのない時代なら、ここまで話題にもならなかったし、新聞社・テレビに騒がないようにお願いをし、問題にならなかつたらう。しかし、いわゆる『言い訳』は、即座にネットで検索され、その矛盾を見つけれられ、多くのネット住民が発言する。その発言も変な意見もあるが「真つ当」な意見もあり、その意見は政界でも無視できなくなつてきている。現在「新聞」が売れなくなつてきているのは、スマホの「イン



「普通の小学校の教室。素朴だ...」

ターネット」が原因だと言われている。確かに、ニュースがすぐに飛び交い、検証も即座に行える時代に入った。人々はその便利な情報を得る事ができ、即座に反応する。しかし、その情報が正しいかどうかは、あまりの早さで検証もできず拡散するとい危うさもある。

その危うさは、これから問題になる事もあり得る。その情報を正しく「見極める力をつける...」それがこれからのネット住民の課題なのだろうと思う。

★【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(._.)m

『魔法にかけられて』

スターチャンネル

2007年 アメリカ 監督:ケビン・リマ
出演:エイミー・アダムス、バトリック・デンブシー、スーズン・サランドン

3月9日(木) 18:15	【チャンネル1】	
3月13日(月) 27:45 ⇒	3月14日(火) 3:45	【チャンネル1】
3月15日(水) 18:45(吹)		【チャンネル3】
3月25日(土) 8:45		【チャンネル1】
3月28日(火) 28:30 (吹) ⇒	3月29日(水) 2:30	【チャンネル3】
3月31日(金) 12:00		【チャンネル1】

夢と魔法の王国【アンダレーシア】の姫君・ジゼルは、おとぎ話の定番の王子(エドワード)と出会い結婚する事に。ところが、王子の継母ナリッサ女王が結婚すると自分の地位が危ういと思ひジゼルを《永遠の幸せなど存在しない世界》へと井戸へ放り込んでしまう！

気が付くとマンホール、飛び出してみるとそこは現代のニューヨーク。《永遠の幸せなど存在しない世界》がニューヨークとは！しかし、ジゼルにとってはそんな事は関係なし。道を歩く人々に助けを求めるが、現代のニューヨークの人間が助けるわけもなく、ジゼルは困果てる。そんな中、偶然出会った弁護士のロバートに家に居候する事に。すると、いなくなつたジゼルを追ってエドワード王子もニューヨークへやってきて...。

現実の世界へ行くとアニメから実写へ、その陳腐さも見どころかと。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしくお願ひします！

貴樹諒音

『ゴーストライター』

スターチャンネル

2010年 フランスイギリスドイツ
監督 製作 脚本:ロマン・ポランスキー
製作:ロベール・バンミュッサ、アラン・サルド
原作 脚本:ロバート・ハリス
出演:スティーヴ・マックイーン、ジェームズ・ガーナー、ユアン・マクレガー、ピアース・ブロスナン、キム・キャトラル、オリビア・ウィリアムズ、トム・ウィルキンソン、ティモシー・ダルトン

3月11日(土) 18:30	【チャンネル2】
3月13日(月) 21:00	【チャンネル3】
3月17日(金) 14:00	【チャンネル2】
3月21日(火) 7:30	【チャンネル3】
3月26日(日) 16:15	【チャンネル3】

有名人の本の代筆を専門とする作家・ゴーストライターの男。前任者がフェリーから転落死した為、急ぎよ、元イギリス首相の伝記の続きを書く事に。アメリカの島に滞在中の元首相の元を訪れると、家は厳戒態勢の上元首相の周辺もただならぬ雰囲気。早速、仕事を始めるが進めるうちに前任者の【伝記】に矛盾を感じるようになり、その死にも疑問を感じるようになる。そして、調べていくうちにある事に気付くが...

監督の作品『ナインゲート』では、悪魔の世界でぞっとさせられたが、この作品では現実の今でも進行中では？と思わせる所があり、こちらもぞっとさせられる。いや、『ナインゲート』より怖いかも。

1925年 ソ連

監督 脚本:セルゲイ・エイゼンシュタイン
脚本:ニーナ・アガシヤンワ

『戦艦ポチヨムキン』

出演:アレクサンドル・アントノフ、クラシミール・ハルスキー、グリゴリー・アレクサンドロフ

ある日、ポチヨムキン号のボルシチの肉が腐っているのを水兵が発見、その上ウジ虫がわいていて先任士官・ギリヤロフスキーに訴えるが、ギリヤロフスキーは無視。食卓に「ウジ虫肉のボルシチ」が並べられた。しかし、水兵達は手もつけないでいた。それを見た艦長・ゴ

起つて、港近くに着いたがその泊りにしているのが、戦艦ポチヨムキンだ。



一九〇五年六月、日露戦争の最中。当時のロシアは日露戦争も行き詰まり、軍隊も腐敗していた。ロシア国内でも、労働者ゼネスト、農民の暴動、《血の日曜日事件》などが起つて、ロシアの中心都市・オデッサでもストライキが起つて

ティンが描く。軍隊が庶民を虐殺する緊迫したオデッサの階段シーンは史実にないが、[革命]という歴史を伝えるには《映画》が重要な役割を果たすという証明でもあり、この頃から「デジタル」という感覚で訴えるという時代が始まつていたのだと思うと、感慨深い。

帝政ロシアの崩壊に繋がった事件の一つ「戦艦ポチヨムキン」の反乱を名監督セルゲイ・エイゼンシュタインの映画創世記

リコフは水兵達を甲板に整列させ、不満を訴える一部の水兵達を銃殺しようとするが、水兵の一人が、「兄弟たち、誰を射つつもりか！」と叫び、銃兵達は銃を向ける事が出来ない。怒ったギリヤロフスキーが再び水兵達に銃を向けるが他の水兵達はそれを許さなかつた。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

☆シネマズライフ120号☆
★ 発行人：貴樹諒音 ★
発行日：2017年3月3日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
★ 告知ブログ ★
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/
Wikipediaから使用させていただきました。m(_ _)m



☆【編集後記】
そろそろもう三月。桜もちらちら咲く。私の住む場所ではまだまだ。住む場所ではないが、世も落ち着かない。うろたえ、何となく私なところ。他力かな。本願の私なところ。本願の私なところ。本願の私なところ。

皆さまお体大切に！
かしこ

★次回発行は3月17日。発行予定は第一・三金曜日です。m(._.)m

シネマズライフーcinemaz-lifeー 1 2 0 号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者 : 貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

【写真素材-フォトライブラリー】

の画像を使わせてもらっています。

《スターチャンネル》

『魔法にかけられて』

『ゴーストライター』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&
お世話になっているインターネットTV
[netchannel KYO](#)

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパバー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.